

令和4年11月4日

啓北小児童保護者の皆様

前期のPTA活動を振り返って

帯広市立啓北小学校

PTA会長 武田 大悟

晩秋の候、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。冷気が一段と深まり冬の訪れを感じる今日このごろですが、皆様お変わりありませんでしょうか。

さて、令和4年度も前半が終わり、折り返しとなりました。我が家では、子どもたちが持ち帰った通知表を眺めながら、これまでの生活について共に振り返りをおこないました。

啓北小PTAでは昨年度から取り組んでおります「プロジェクト方式」への転換を進めるべく、模索しながらも「できることを1つでも」の想いのもと、今年度の活動をスタート致しました。参観日では皆様にこれからの活動についてお話しをさせて頂き、今後の活動案の募集もさせて頂きました。また、これまでPTA三役だけで取り組んできた「夜間巡視」についてははじめて会員の皆様と一緒に実施することができました。

2学期以降、皆様から頂いた「アイデアの種」に花を咲かせるべく、3つのプロジェクトの計画を立てておりましたが、夏休み期間中の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ご案内する前に延期とさせて頂きました。

「子どもたちとニコニコできる活動」に取り組みたい気持ちと「子どもたちの安全を守りたい」気持ちがあります。私自身も新型コロナ感染拡大の影響を受け、なかなか見守り活動に参加できない日々が続いています。3年続くコロナ禍から一歩を踏み出そうとしながらも、前期は足踏みした格好となりました。

「歩」という字は、“少し止まる”と書きます。(本来の意味ではありませんが)この状況においても、少しずつ前に進んでいると捉えて、頂いた声を形にする取り組みをおこないたいと考えています。

私たち大人の取り組みが、子どもたちから“たいへんよくできました”と評価してもらえるような活動となりますように。

引き続き、皆様のご協力を宜しくお願い致します。